

## 青少年のメンタルヘルス協力に関するASEAN+3首脳声明

(和文概要)

(2021年10月27日)

- 国連の持続可能な開発のための2030アジェンダ、及び持続可能な開発目標(SDGs)、特に予防や治療を通じて非感染症疾患による早期死亡率を3分の1減少させることを目指す、SDG3.4へのコミットメントを再確認すると共に、精神障害が世界疾病負担及び生活の質に重大な影響を与える要因であることを改めて強調した上で、メンタルヘルスと福祉を促進。(前文パラグラフ2)
- メンタルヘルス問題の軽減に向けた、緊密な国際協力と効果的な多国間メカニズム強化への、我々の強い決意と確固たる意志を強調。(前文パラグラフ10)
- APT各国に対し、人々のメンタルヘルスと福祉の保護と促進のため、手頃な価格で利用しやすい、基礎的なメンタルヘルスケアサービスと心理的サポートの確保を通じて、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを強化することを奨励。(パラグラフ1)
- メンタルヘルス問題を抱える人々の社会的福祉を向上させると共に、メンタルヘルスへの意識啓発に係る、APTメカニズムを通じた取組を強化し、精神疾患への偏見を改善し、さらに感情的・精神的サポートを提供。(パラグラフ2)
- APT各国間での、特に青少年のメンタルヘルス問題や自殺防止に対処するための、より連携したイニシアティブを呼びかけると共に、COVID19パンデミックや他の公衆衛生緊急事態により、メンタルヘルス問題の影響が更に悪化する事態を防ぐための努力を強化。(パラグラフ3)
- 教育現場でのメンタルヘルス促進に係るベストプラクティスの共有や、児童・生徒へのメンタルヘルス教育の導入に関する、APT諸国間での地域ワークショップの実施を支援。(パラグラフ5)

(了)